

株式会社エックス都市研究所は、平成24年度、25年度の実証運営機関です。

環境技術実証事業 (ETV事業) とは

既に実用化され、有用と思われる先進的環境技術でも環境保全効果についての客観的な評価が行われていないために、地方公共団体、企業、消費者等のエンドユーザーが安心して使用することができず、普及が進んでいない場合があります。

環境技術実証事業 (ETV事業) とは、このような環境技術の環境保全効果等について第三者機関が試験等を実施し、客観的なデータとして示す (実証する) ことにより、環境技術の普及を促進し、環境保全と地域の環境産業の発展を図るための事業です。

これまでの実証実績

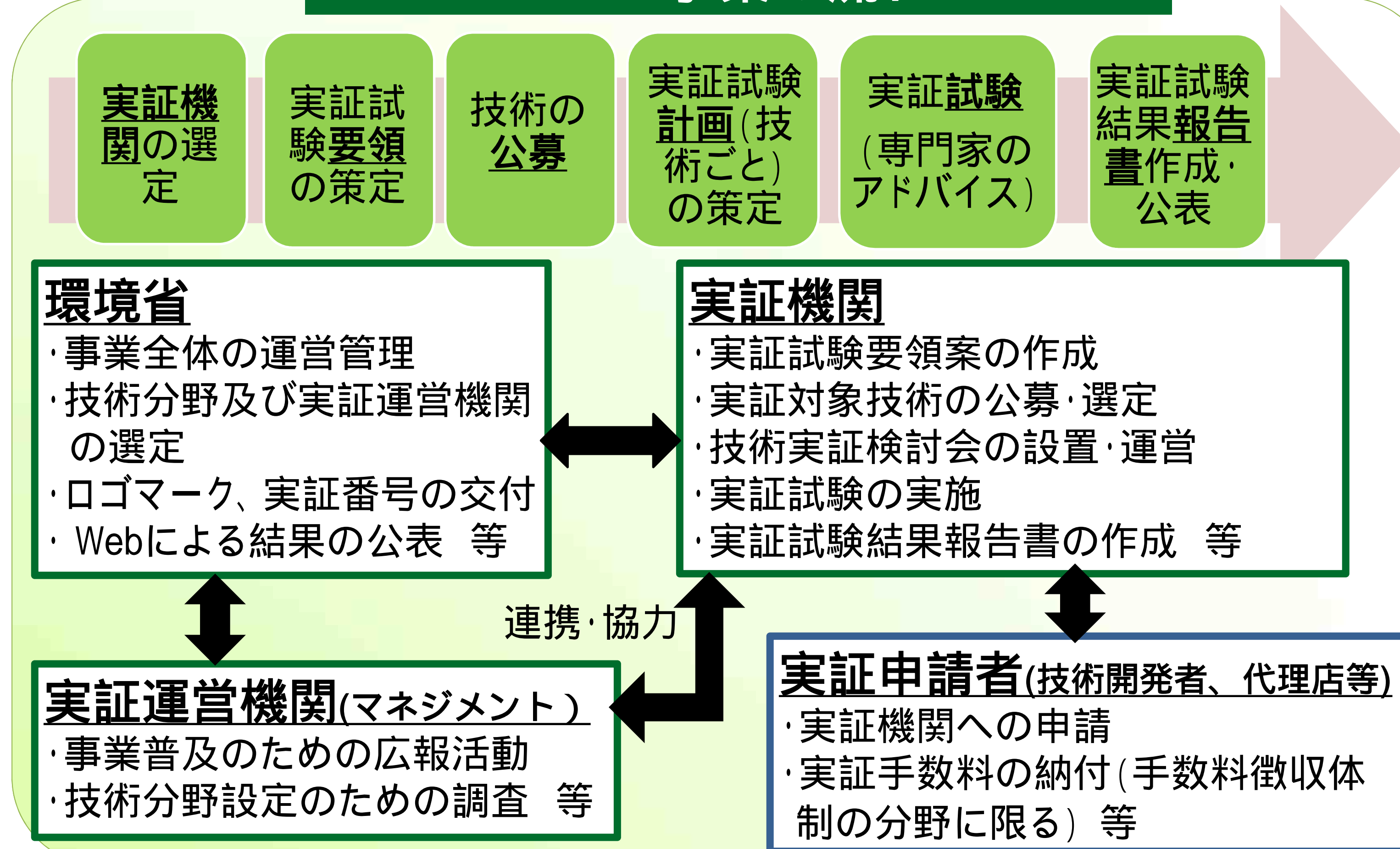


ロゴマーク・実証試験結果

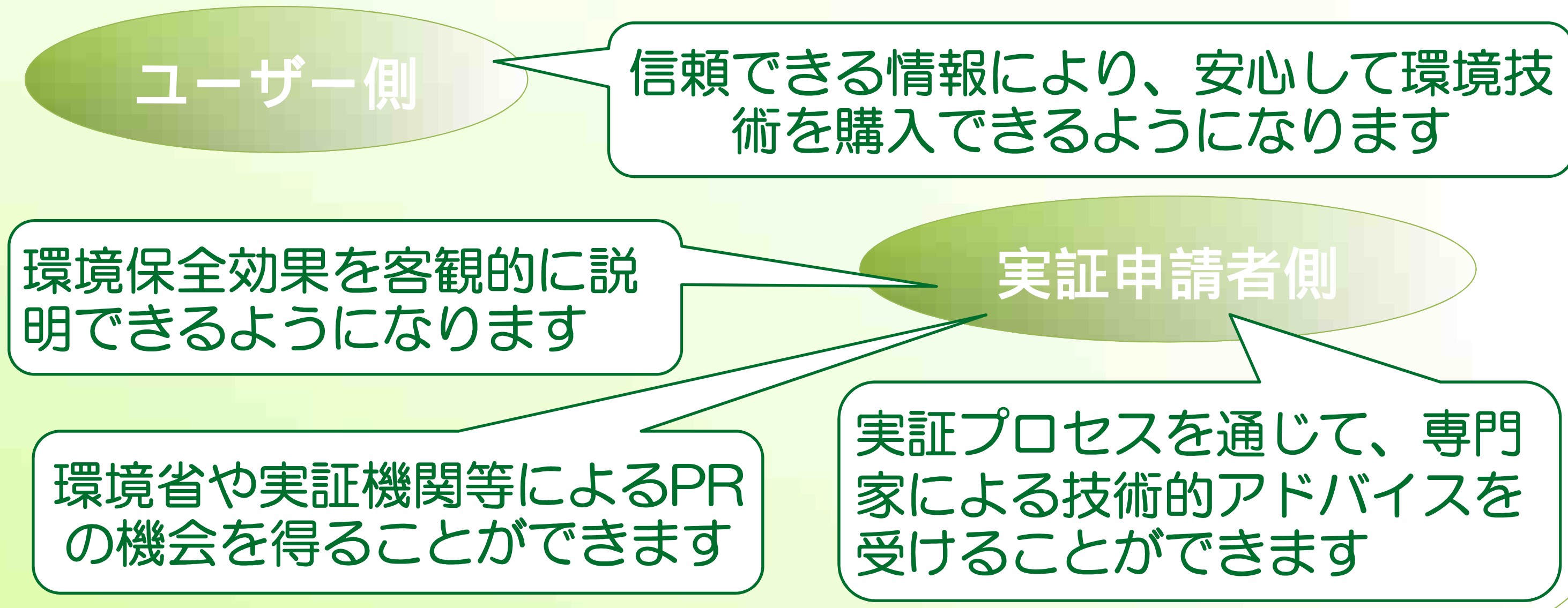
実証済み技術にはロゴマークを交付し、実証結果は環境省ウェブサイトにて公開されます。



ETV事業の流れ



ETV事業のメリット



平成25年度対象技術分野

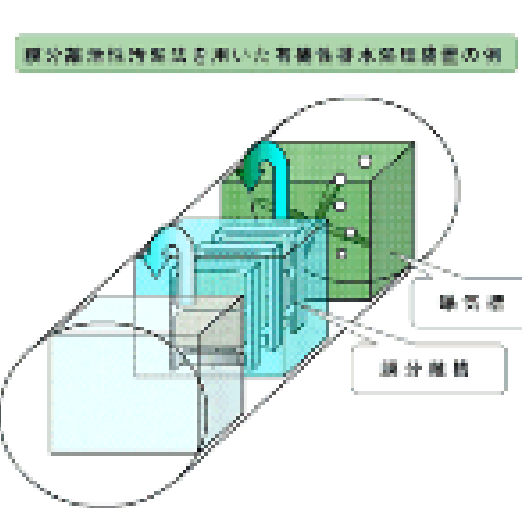
自然地域トイレし尿処理技術分野

【実証機関：特定非営利活動法人 山のECHO】
 山岳地域や山麓、海岸、離島などの自然地域で上下水道、電気 (商用電源)、道路等のインフラが不十分な地域、または自然環境の保全に配慮しなければならない地域において、し尿を適切に処理するための技術分野。



有機性排水処理技術分野

【実証機関：一般社団法人 埼玉県環境検査研究協会】
 厨房・食堂、食品工場等から排出される有機性排水を、生物学的または物理化学的処理により適正に処理する技術 (装置・プラント) 分野。



閉鎖性海域における水環境改善技術分野

【実証機関：日本ミクニヤ 株式会社】
 閉鎖性海域において、水質および底質の直接浄化、または生物生息環境の改善に資する技術分野 (ただし、現場で直接適用可能なものを基本とし、大規模土木工事等を要するものは除く) 。



湖沼等水質浄化技術分野

【実証機関：一般社団法人 埼玉県環境検査研究協会】
 湖沼等の閉鎖性水域において、汚濁物質 (有機物、栄養塩類) や藻類の除去、透明度の向上、底泥からの溶出抑制等を達成し、現場で直接適用可能な技術を対象としている技術分野。



VOC等簡易測定技術分野

【実証機関：公益社団法人 日本環境技術協会】
 操作・管理の容易性や定量の迅速化などの特徴をもったもので、VOC等各種ガス取扱い場所における工程管理、VOC等処理装置管理、作業環境管理、室内環境管理 等、VOC等削減の自主的取り組みや環境管理に有用な技術分野。



【平成24年度実証済技術の例】

実証番号	実証技術名	申請者
030-1201	水循環式バイオ水洗トイレ (水使用 - 生物処理 - プラスチック方式)	(株)ミッシング
020-1201	木炭を活用した「家庭雑排水の処理装置」 (雑排水専用新浄化装置SG-500型)	正和電工(株)
020-1202	郊外小規模店舗 (浄化槽設置) 用 シンク型油水分離回収機 グリス・ECO DS-2 750-500	(株)大都技研
090-1201	人工ミネラル-M型 (鉄鋼スラグを原料とした海域再生用ミネラル供給サプリメント)	国土防災技術(株)、新日鐵住金(株)
090-1202	貝殻による生物生息環境改善技術	海洋建設(株)、全国漁業協同組合連合会、(株)大本組
090-1203	微弱電流を利用したサンゴ成長促進及び電着基盤利用技術	三菱重工鉄構エンジニアリング(株)
080-1201	移動式高性能湖沼浄化システム	(株)ユーディーケー
100-1201	ppbRAE3000 PGM-7340	日本レイシシステムズ(株)
100-1202	ToxiRAE ProPID PGM-1800	フィガロ技研(株)
100-1203	パーソナルTVOCモニター FTVR-01	
100-1204	VOC成分濃度モニター FTVR-06	

ヒートアイランド対策技術分野 (建築物外皮による空調負荷低減等技術)

【実証機関：一般財団法人 建材試験センター】
 建築物 (事務所、店舗、住宅など) に後付けで取り付けられる外皮技術であり、室内冷房負荷の低減等によって、人工排熱を減少させ、ヒートアイランド対策効果が得られる技術分野。

ヒートアイランド対策技術分野 (地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム)

【実証機関：特定非営利活動法人地中熱利用促進協会】
 地中 (地下水・河川・下水等も含む) と外気との温度差を利用して、外気を熱源とする空冷式ヒートポンプよりも効率的に建築物の冷暖房を行うことによって、または夏季冷房使用時は、外気中に排熱を放出しないことによって、ヒートアイランド対策効果が得られる技術分野。

地球温暖化対策技術分野 (照明用エネルギー低減技術 (反射板・拡散板等))

【実証機関：一般財団法人 建材試験センター】
 日常業務または日常生活に求められる光環境の実現に必要なエネルギー消費量を低減し、温室効果ガス排出削減に資する技術分野。

中小水力発電技術分野 - 平成25年度新規技術分野 -

【実証機関： (学会当日は明記します。)】
 水の位置エネルギーを活用し、溪流、河川部、排水路などの流量と落差を利用して小規模、小出力の発電を行う技術等を取り扱う技術分野。